

## PDA 金沢泉丘高校セミナー

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年12月18日（火）12:30-15:30

会場：石川県立金沢泉丘高校

参加者：生徒36名、教員8名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京大学、同志社大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

まず初めに、PDAのスタッフより、ルール説明、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習を行った後、スタッフによるモデルディベートを披露しました。POIの練習では、少し照れながらもしっかりPOIのポーズをすることができました。

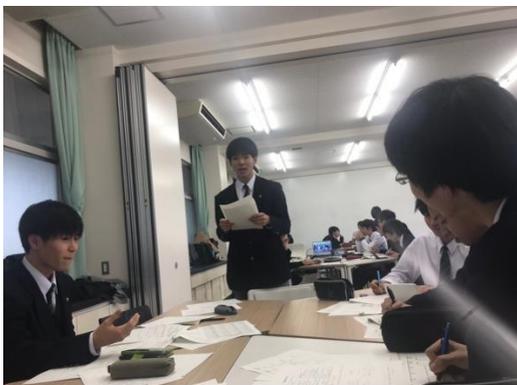


そしていよいよ第1ラウンドの始まりです。日本語でのディベートは経験あるが英語では未経験の生徒が大半でした。それでも、『何をしたらよいか分からない』という表情は、全くといっていいほど見られません。中には、気持ちが次第に乗ってきたのか、配布された単語シート一覧にあるワードでは少し、物足りないなという感じで、電子辞書を軽快にタイピングしていく生徒の姿もありました。

ディベートが始まると具体例が知りたいとき、ポイントを再度確認したいときなどに積極的にPOIをすることができていました。



対戦相手を変えて第2ラウンドの始まりです。生徒たちも少しずつ要領がつかめてきたのか、準備時間中にも笑顔があちこちで見られるようになりました。気持ち的にも次第に伸び伸びとしてきて、全体的にスピーチの時間が長くなりました。第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを活かしながら具体例を考えたり、相手の立論を予想しながら自分たちの立論を考えたりすることができました。ディベート中も白熱した議論が繰り広げられました。多くの生徒が2ラウンドのディベートを経験することで大きく成長した様子がみられました。



## 生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・大変楽しく、実のあるディベートになったので本当に参加してよかった。こんな機会が普通の授業にもあったら楽しすぎるし、英語力がつくのでいいと思った。
- ・相手の話から反論を考えたり POI をしたりするのが難しかった。
- ・意見は出るけれども英語にできないというのがもどかしくて面白かった。英語の授業では使わないような能力が必要とされていて面白かった。
- ・自分はこういった経験がなかったので、できないと思って心配していたがやってみると、短時間に頭を回転させることや言えた時は楽しかった。
- ・短時間で意見をまとめて共有する難しさと、反論しながらもわかりやすい説明と具体例を話す難しさを体験できた。活発にディベートできて楽しかった。
- ・テーマも面白くて、グループで意見を考えるのは楽しかった。英語でディベートは最初はできないと思ったけど、相手の意見を聞いて反論を考えたりするのは意外と楽しいとわかって、良い経験をすることができました。
- ・自分が全然しゃべれないのだなあと思って悔しかった。毎日やりたいなと思ったし、何よりもこれから大人になって行く中で必要なスキルだと思った。
- ・英語を話すことに自信がなかった。しかし、いがいと習った文法などが自然と出てきて嬉しかったし自信も生まれた。
- ・英語でのディベートは初めてで、回を重ねるとうまく話せるようになってきたから。
- ・普段は自分の見方でしかものを見ないが、肯定、否定の立場に立ったり、それに反論しようとしたりする上で多角的な見方ができたから。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■さん  
■さん  
■さん  
■さん  
■さん

〈2回目〉

■さん  
■さん  
■さん  
■さん  
■さん